

JST次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)及び次世代AI人材育成プログラム(BOOST)採用学生に課せられる履修要件について

数理SPRING・BOOST運営企画委員会

数理物質科学研究群では、採用の区分 (JST-SPRING事業の区分1,2,3 およびJST-BOOST)によらず、以下に説明する同一の履修要件を課すものとします。よく確認の上、プログラム支援終了時までには遺漏なく要件を満たせるよう、計画的かつ積極的な履修及び実行を心がけること。

<採用者に課せられる事項等>

(1) 必須

● JST-SPRING・BOOST 事業として全学共通に課される要件

- 1) [研究倫理 e-learning APRIN e ラーニングプログラム \(CITI Japan\)](#) を受講すること。
- 2) 四半期毎 (6,9,12月) に[研究経過報告書](#)、当該年度の研究終了時 (3月) に[終了報告書](#)を提出すること。
- 3) 若手研究者のためのマッチング・システム「[PhD×FUTURE.](#)」に登録すること。
- 4) JST が採用された学生に直接フォローアップを行うために、大学からメールアドレスを J S T に提供することへ同意すること。

【以下は、区分 1, 2 採用者のみ必須】

- 5) 本プログラムが主催する研究発表会へ参加すること。
- 6) [ジョブ型研究インターンシップ事業のマッチング専用システム](#) へ登録すること。
- 7) 修了後、キャリアに関する追跡調査を 10 年以上行うことが、J S T から大学に求められているため、必ず大学が実施する追跡調査等に継続して協力すること。
- 8) [大学院共通科目](#)を 1 単位以上修得すること。

【大学院共通科目】0A00XXX

<https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses-kyoutsuukamoku/>

● 数理物質科学研究群において課される要件

- 9) 定期的なコーディネーターとの面談に参加すること。(年 2 回学期ごと)
- 10) 8)に加えて、以下の授業科目を修得すること。(原則 2 年次までに単位取得することを強く推奨する)

数理リサーチプロポーザル(1 単位) 0BJ0001

※化学と国際マテリアルズイノベーションは、各学位プログラムで開講しているリサーチプロポーザルの単位取得をもって数理リサーチプロポーザルの履修は免除とする。

- 11) 数理物質科学研究群の主催する「博士課程学生と企業との交流会」に出席すること。
(1, 2 年次は必ず参加のこと。3 年次及び社会人(区分 3)の学生は任意参加とする。)
※2026 年度は 10 月 29 日(木)午後、対面にて開催予定。

(2) 可能な限り履行

以下の取組への参加等、自ら積極的なキャリア開発・育成の機会の確保に努めること。

※数理物質科学研究群においてはより強く推奨する。

● JST-SPRING・BOOST 事業として全学共通に課される要件

- 1) 海外への留学等（海外留学に相当する機会を含む）すること。
- 2) 学内ミニキャンプ（仮称。1～2週間程度の宿泊を伴う協働学修&交流会）による日本人学生と留学生の相互交流会等へ参加すること。
- 3) 企業等での長期インターンシップや企業等で研究スタッフとして従事すること。
- 4) JST 主催の大学横断博士後期課程学生交流会へ参加すること。
- 5) その他、事業統括から指示があった事業へ積極的に参加すること。

● 数理物質科学研究群において課される要件

- 6) インターンシップを実施すること。
- 7) 以下の授業科目を修得すること。

博士キャリアアップ特論(1単位) OBJ0002 (春 C 開講)

※博士キャリアアップ特論は日本語による授業のため、受講が難しい留学生は下記の科目のどちらか1つの単位取得をもって履修を免除とする。

Science in Japan I (1単位) OAH0113 (秋 AB 開講)

Science in Japan II (1単位) OAH0114 (春 AB 開講)

以上は、博士後期課程1年次から採用された学生が課程修了までの3年間で行うべき要件であり、途中の年次で採用された学生については、事情に応じて一部の要件を免除することがあります。学期ごとのコーディネーター面談で履修要件の確認をしますのでご相談下さい。また不明な点は随時下記へお問合せ下さい。

【本件問い合わせ先】

数理物質エリア支援室

数理 SPRING 担当 阿部

suuri-f-appl@un.tsukuba.ac.jp